

2025 年度 フィールドスタディ（FS）実施企画

授業コード：25041606

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額は FS の日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	流域から考える環境保全の展開と課題
担 当 者	藤田 研二郎
実 施 時 期	2025 年 9 月 8 日（月）～11 日（木）
実 施 場 所	愛知県名古屋市、三重県桑名市、岐阜県岐阜市
協 力 機 関	藤前干潟を守る会、長良川市民学習会、日本環境法律家連盟
募 集 人 員	10 名程度
学 習 目 的	藤前干潟、長良川をはじめ、日本の環境保全の展開に重要な意味をもったサイトをめぐりながら、流域における環境保全の歴史や現状の課題について、調査・実習を行う。
行 程	9/8（月） 名古屋市立大学との交流会（愛知県名古屋市） 現地調査・実習の計画について情報交換、交流 9/9（火） 稲永ビクターセンター（名古屋市） 藤前干潟の保全の歴史を学ぶ、干潟の生き物観察に参加する 9/10（水） 長良川河口堰（三重県桑名市） 長良川うかいミュージアム（岐阜県岐阜市） 長良川流域の保全の歴史と課題を学ぶ 9/11（木） 日本環境法律家連盟（名古屋市） 環境保全に関する法的アプローチについて学ぶ ※詳細は、学習支援システムを通じて連絡します
費 用	約 3 万 3,000 円（東京⇄名古屋往復交通費、宿泊費、実習費を含む） ※現地交通費、飲食費等は除く
奨励金の カテゴリー （ 予 定 ）	C：3,000 円
選考基準	志望調査票の内容にもとづき選考する。また必要に応じて、面接を実施することもある。
事前・事後 学習の予定	7/23（水）、9/1（月） 事前学習 調査・実習先の概要を示す。テーマにもとづきグループ分けをし、対象の情報収集を行ったうえで、質問項目を作成する。 9/17（水） 事後学習 調査・実習したことの報告会を行い、最終レポートについて説明する。 ※すべての事前・事後学習に参加できる場合にのみ、応募してください
注 意 事 項	(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。
評 価 方 法	事前学習・事後学習の課題、現地調査・実習への積極的な参加、最終レポートの内容にもとづき、総合的に評価する。